

入選

守りたい景色

熊本県 清水中学校 一年

松尾 しおり

これは、私が小学5年生のときのお話です。私は、毎朝友達といっしょに学校に行っていました。その日は、いつもより早く家を出ようと思い、急いで学校へ行く準備をしました。

「行ってきます。」と言い、いつも通り家を出ました。すると、いつもは見ない光景が目に入ってきました。家の前にあるごみ置き場に捨ててあったごみが、カラスに荒らされており、ごみが周辺に散らかっていたのです。

そこの道を通る人は、見て見ぬふりをする人もいました。ですが、私はこのままではこの道を通る人に迷惑がかかると思い、片づけようと思いました。家からほうきを持ってきて、ごみを集めました。ある程度ごみが集められたと思ったら、近所の人がごみ袋を持ってきてくれました。近所の人もこのごみを見て、片づけようとしてくれたのだなと思い、

「ありがとうございます。」

と、言っていっしょにごみを片づけました。私は学校へ行かないといけなかったので、

「手伝ってくれて、ありがとうございました。」

と言い、その場を去りました。学校に着いてからは、いつも通り過ごしていました。

すると、先生がいらっしゃって、

「朝、学校へ来るときごみを片づけなかった？」と聞かれました。

私は驚きましたが、「片づけました」と答えました。「ちょっと来てくれないか」と言われ、先生といっしょに職員室に行きました。そこには、教頭先生がいらっしゃり、ごみを片づけてくれて、名前も言わずに行ってしまった女の子を褒めてくれないか、という電話がかかってきたそうで、「朝からこの電話をいただいて、嬉しかったよ」と言われました。

その日は、いろいろな先生方に褒めていただき、家族にも褒められました。本当に嬉しかったです。思い出してみると、いっしょに片づけをしてくれた人からも「ありがとう」と言われました。やっぱり、良いことをするとされた人も嬉しい気持ちになるし、自分にも良いことになって返ってきて、どちらも良い気持ちになれるんだな、と思いました。

ですが、今回のように褒められなくても、誰にも見られず気づかれないことでも、これからも続けていきたいと思います。それは、私の周りに守りたい景色があるからです。そのためには、面倒くさいからとか、自分がやったことではないからと見て見ぬふりをせずに、ここを使う人、通る人のことも考えて行動できる人になりたいです。

身近にできるスリッパを並べることや、公共機関をきれいに使ったりすることなどをこれからもしていきたいと思います。

今は、コロナ禍が少し収まって人と関わる機会も増えました。ですから、いつでも相手の立場になって、物事を考え行動できる人になるために、これからの日々の意識を高く持って、過ごしていきたいです。